

# 令和6年度 第1回学校運営協議会 議事録

静岡県立掛川特別支援学校

1 日 時 令和6年6月17日（金） 午前9時30分から11時30分まで

2 会 場 静岡県立掛川特別支援学校 会議室

3 参加者

○委員

- ・会 長 鴻野 元希 様
- ・副会長 早川 明 様
- ・コーディネーター 田辺 エミ 様
- ・委 員 横山 孝子 様
- ・委 員 大石 徹 様
- ・委 員 水野 正幸 様
- ・委 員 伊藤 志保 様

○学校

校長、副校長、教頭、事務長、小学部主事、中学部主事、高等部主事、  
肢体不自由教育主任、CSディレクター  
教務情報課長 生徒指導課長 防災教育課長 保健給食課長 研修課長  
自立活動課長 体育課長 図書表現課長 地域連携課長 キャリア教育課長

4 内容

(1) 学校運営協議会委員の任命

(2) 開会

① 校長あいさつ

② 自己紹介

(3) 議事

①令和6年度学校経営計画

ア 学校経営の重点 イ グランドデザイン ウ 「ふれ活」シンボルマーク活用について エ 令和6年度ふれあい活動について

② 意見交換

ア グループミーティング

テーマ：学校教育目標「いきいき学び 地域とともに よりよく生きる人を育てる」  
にむけて

イ 各グループより報告

(4) 校内参観

(5) 校内コンプライアンス委員会

ア 令和6年度不祥事根絶計画 イ 令和6年度人権教育について ウ 質疑応答

(6) 連絡事項

(7) 閉会

## 5 議事録

### (1) 校長挨拶

校長3年目、開校10年目の学校であり、「元気 笑顔 夢の実現」を校訓として、学校  
学校改革に取り組んでいる。学校運営協議会委員の皆様に御協力いただき、改革に取り組  
んでいきたい。本日はよろしく申し上げます。

### (2) 自己紹介

### (3) 令和6年度学校経営計画について、グランドデザイン（校長）

#### <目指す学校像>

- ・校訓「元気 笑顔 夢の実現」
- ・学校教育目標「いきいき学び 地域と共に よりよく生きる人を育てる」  
いきいきと学び=心身ともに健康で、楽しく主体的に学ぶこと  
地域と共に =学校生活（学習面・生活面）が充実し、人・もの・ことに関わること  
よりよく生きる人=日々の学びを積み重ね、卒業後に自立した豊かな生活を送れるよう  
にすること
- ・目指す児童生徒の姿「主体的に学び、自分の良さを生かし、人や社会とつながりながら  
その能力や可能性を最大限に発揮して生活する姿」
- ・本校10年目となり、「元気 笑顔 夢の実現」を校訓にした。学校教育目標を学習指導要  
領と合わせ、「いきいき学び：主体的、地域と主に：対話的、よりよく生きる人：深い学  
び」と合わせている。子どもたちの目指す生徒の姿を実現するために、目標の具現化「専  
門性、安全・安心、連携」の3つの柱として学校経営の中でおさえている。

#### <目標具現化の柱>

- ア 【専門性】 一人一人の教育的ニーズに応じ、確かな成長・発達を支える専門性の  
充実
- イ 【安全・安心】 人権・個性を尊重し、安全・安心な教育環境、学校体制と教育の充  
実
- ウ 【連携】 家庭や地域、関係機関等から信頼され共に歩む協働体制の充実

#### <本年度の取組>

- ア 専門性
  - ・学習指導要領を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践を通じた実践  
力と専門性のレベルアップ
  - ・学校体制で取り組むカリキュラム・マネジメント（12年間の年間指導計画）と「いき  
いき学び 地域と共に よりよく生きる人」を育てる授業づくりの推進
  - ・心理的安全性の確保と月45時間以内を目指した働き方改革の推進
- イ 安全・安心
  - ・児童生徒が安全に安心して生活できる教育環境の整備及び事故等の未然防止への行動  
力と有事への対応力の向上
  - ・教職員、児童生徒の人権意識の向上と、他者も自分も大切にする心の醸成
- ウ 連携
  - ・よりよく生きる人を目指した学校と家庭、地域・関係機関等との協働強化
  - ・地域資源（人・もの・こと）への深い理解とそれを活かした実践や発信

## <ブランドデザイン>

- ・小学部:～地域とふれあう、地域で活動する～、中学部:～地域を調べる、地域で学ぶ～、高等部:～地域へ発信する、地域に貢献する～と積み重ね、地域で学んでいる。
- ・高等部卒業後の生活を意識して、各学部の目標が立てられている。「専門性」「安全・安心」「連携」3つの目標具現化の柱を立て、各学部と分掌がマッチして取り組んでいる。
- ・「チーム掛特」を合言葉に、学校、家庭、地域、関係機関等が一丸となり「元気、笑顔、夢の実現」を目指して取り組んでいく。

### (3) コミュニティスクールについて

#### ① 「ふれ活」シンボルマーク活用について (CSD)

- ・コミュニティスクールは子どもたちと地域が交流できる活動であり、本校では「ふれあい活動」を「ふれ活」として各学部で実施している。CS コーディネーターとディレクターが連携し、地域活用をし、学校と地域がつながり、教育が充実している。
- ・シンボルマークについて、昨年度の運営協議会で御意見をいただき、昨年度7月より高等部生徒会中心に、田辺様と美術の教員よりデザインについてアドバイスをいただき、校長先生の想いをインタビューしてアドバイスをいただき、シンボルマークとキャラクターの案を制作。全校児童生徒による投票でシンボルマークが決定した。掛川工業高校にシンボルマークのデータ化を依頼。シンボルマークは、「幸せを象徴する虹」、「協力とふれあい」、「虹がつなぐ2つのスマイル」の意味が込められて描かれている。また、マークとは別に掛特応援キャラクター「未来進夢(みらいすすむ)くん」も制作、地域へ発信していく。

#### ② 令和6年度ふれあい活動について

##### <小学部> (小学部主事)

- ・「地域とふれあう、地域で活動する」を目的とし、授業で地域へ歩いて出かけ、地域の方に挨拶をしたり、公園を利用したりするなどしている。11月に1日ウォークを計画し、昨年度は20名のボランティアの方に参加していただき、児童の安心安全確保に御協力いただき、無事に終わることができた。シンボルマークと「ふれ活」が子どもたちの中でつながるように活用していく。

##### <中学部> (中学部主事)

- ・「地域を調べる、地域で学ぶ」を目的としている。1年生では「特産物を知ろう」を学習し農家の方から、サツマイモの育て方、収穫、調理方法等学んでいる。2年生ではお茶について学習し、栗岳の茶畑で茶摘み体験をしたり、JA掛川の方に講話していただく。3年生については、掛川の歴史、景観等調べ「掛川あるきマップ」の作成をする。シンボルマークは11月の販売会で、製品に入れる予定。

##### <高等部> (高等部主事)

- ・「地域へ発信する、地域に貢献する」を目的としている。11月のふれあいフェスタ、2月の地域販売会で作業製品を販売。他にも、休日イベントに参加し販売している。6月は irie café で行われた「みんなのわ」に参加した。販売以外にも製品についてのアンケートをとり、製品作りに生かしている。園芸班は、校門前の花壇の整備を地域の方と行っている。木工班は、掛川市議会より依頼を受け「きえーる」(ごみの削減を目指し、生ごみを使って土の再生をする家庭でも手軽に使えるコンポスト) 作りを行った。シンボルマークは、アンケート用紙にいれたり、シール等作成してPRしていく。

## <肢体教育> (肢体統括)

- ・小学部は、ぴのほーぷ様の畑で、さつまいも作りに参加、2年目になる。つるさし、水かけ、収穫の一連の作業に参加している。中学部は、写真作家土屋様に、iPadの使い方、写真撮影を御指導いただいている。7月の校外学習で、生徒が記録写真を撮影し、秋のコンクールに出展する。高等部は、正門前の花壇整備を、生徒ができる方法で参加している。シンボルマークは「ふれ活」の授業名や様子を知らせるお便り等で使用する。

## ③ グループミーティング

- ・学校目標「いきいき学び 地域とともに よりよく生きる人を育てる」達成に向けてグループ協議の実施

### <元気を支える(安全・安心)グループ> (小学部主事)

- ・福祉避難所について。危機管理マニュアルの改訂、職員の共通理解。
- ・防災食について。防災食の備蓄。防災食体験の実施、保護者との共通理解。
- ・熱中症対策について。水分補給。WBGT計測、記録。

### <笑顔を支える(専門性)グループ> (中学部主事)

- ・ICTの実践について。チャットGPTを知覚障害の子どもが活用している事例がある。教員と生徒の活用は別と考え、研修するとよい。
- ・「ふれ活」について。大人のおさえだけになっているのでは。子どもたちがどのように理解し、意欲面を含め学習を積み上げていけるとよい。シンボルマークを活用し地域で学ぶを実践。
- ・「よりよく生きる人」を育てるために必要な力について。卒業後の生活をイメージし、公共性、社会性を育てる。自己実現、自己選択できることが必要な力である。

### <夢の実現を支える(連携)グループ> (高等部主事)

- ・地域のつながりについて。子どもたちが「～したら嬉しい。」と感ずることを個人目標に定める。作品展アンケート等の外部評価を活用するとよい。
- ・現場実習について。企業への理解啓発。子どもたちがさまざまな人(大人)とコミュニケーションをとり、自信をつけ社会参加する力を身に付けていきたい。

## (4) 校内参観について感想

- ・横山委員：教員の笑顔が印象的。笑顔で、気持ちよく子どもたちと接している。

## (5) コンプライアンス委員会

### ①令和6年度不祥事根絶取組計画について(副校長)

- ・人権振り返りシートを使い、毎月、月初めの人権目標の共有、月末の取り組み事例の発表に取り組んでいる。

### ②令和6年度人権教育について(副校長)

- ・人権教育全体計画の指導の重点について説明。毎月のテーマがあり職員人権目標を設定している。教員として、子どもたちの人権を守るためにどのように子どもと接し取り組んでいるか情報共有し、人権意識の向上を目指している。

## (6) 校長挨拶

- ・本日は本校へお越しいただきありがとうございました。現在の学校は、新しい価値観、障害の重度化など、教員の専門性を上げる必要があります。委員の皆様と一緒に、学校改革、改善に取り組んでいきたいと思ひます。今後もよろしくお願ひします。